

平成27年度スーパーグローバルハイスクール構想調書の概要

指定期間	ふりがな	きょうとふりつとばこうとうがっこう				②所在都道府県	京都府
27～31	① 学校名	京都府立鳥羽高等学校					
③対象学科名	④対象とする生徒数					⑤学校全体の規模	
	1年	2年	3年	4年	計	1年 362人	2年 353人
	362	353	351		1066	3年 351人	
⑥研究開発構想名	ソーシャル・イノベーションで挑むグローバル・リーダーの育成						
⑦研究開発の概要	リベラルアーツ教育を基軸に、国内外の学術機関や企業等と連携した鳥羽の学びネットワークを活用して、グローバル・イシューに挑む新しい価値創造を目指す課題研究「ソーシャル・イノベーション」により、価値創造力・協働力・突破力・寛容力・教養力を備えたグローバル・リーダーを育成する教育システムを研究開発する。						
⑧研究開発の内容等	⑧-1全体	<p>(1) 目的・目標</p> <p><目的></p> <p>未来を見すえた新たな価値を創り出す価値創造力、異文化コミュニケーションを通じて課題に取り組む協働力、困難な課題と向き合い解決する突破力、多様な価値観を尊重する寛容力、幅広い見識を持ち広い視野で社会を俯瞰する教養力を備え、持続可能な豊かな社会を創造することに貢献するグローバル・リーダーを育成する。</p> <p><目標></p> <p>① 京都や世界の智慧を多面的に考察し、再認識して新たな価値を創造し発信する。</p> <p>② 異なる文化背景を持つ人々と課題解決に向けて、主体的・協働的に取り組む。</p> <p>③ オープンエンドの問いを多角的にとらえ、解決の糸口を見いだす。</p> <p>④ 多文化社会において価値観の違いを理解し、共生できる能力を身につける。</p> <p>⑤ 地球規模で考え、行動するための基盤となる豊かな教養を身につける。</p> <p>(2) 現状の分析と研究開発の仮説</p> <p>本校は明治33年に創立された旧制京都第二中学校の伝統を継承する普通科の公立高校であり、冷泉家時雨亭文庫常務理事冷泉貴実子氏による和歌の作成・披講の指導や、論理的思考力を育成する独自の思考力コンテストを実施している。また、SGHアソシエイト校として、グローバル人材育成をめざして、生徒の海外派遣及び他国からの高校生受入れや、積極的な社会参画を促すシティズンシップ教育を推進している。その一方で、武道・スポーツ活動が盛んで、健康・スポーツ領域に関する生徒の意識が高い。これらが、自律する人間を育成する「鳥羽式文武両道」として府民から高い評価を得ている。しかし、現状では、これらの取組は対象や活動規模が限定したものとなっている。これを克服し、より大きな視野で活躍するグローバル・リーダーの育成をめざし、次の仮説に基づく研究開発を行う。</p> <p>仮説1：総合的な学習の時間「イノベーション探究ⅠⅡⅢ」及び学校設定科目「グローバル・コミュニケーションⅠⅡⅢ」等は、課題の発見・分析能力、多文化協働による主体的な課題解決能力を高める手段として有効である。</p> <p>仮説2：京都府海外サテライト校への中期留学等の方策は、新しい視座と高い言語能力を確立する上で有効である。</p> <p>仮説3：鳥羽の学びネットワークを活用したリベラルアーツ教育は、広い視野でグローバル社会を俯瞰できる教養力を育成するために有効である。</p> <p>(3) 成果の普及</p>					

		<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル・サミットを平成 29 年度より実施。英語による課題探究発表、論文集作成。 ・文部科学省 SGH ホームページ、本校ホームページ、京都府教育委員会主催「グローバルネットワーク京都交流会」にて発表。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">⑧ -2 課題研究</p>		<p>(1) 課題研究内容</p> <p>SGH アソシエイト校として、鳥羽の学びネットワークと連携・推進してきた多様で高度な教育活動を活用し、教科科目を体系化するリベラルアーツ教育を基軸とし、グローバル・コンピテンシーを高める教科横断的科目や、海外インターシップなどの戦略的手法による多様で実践的な学びを、総合的な学習の時間「イノベーション探究ⅠⅡⅢ」を核とする生徒の主体的な学びに一体化させつつ、目標を達成する。</p> <p>(2) 実施方法・検証評価</p> <p>＜実施方法＞</p> <p>1 年次：グローバル・コンピテンシーの基礎の習得 「イノベーション探究Ⅰ」における京都フィールドワーク（伝統・文化領域、健康・スポーツ領域）、京都や世界の智恵の再認識、生徒の研究課題発見。「グローバル・コミュニケーションⅠ」における発展的英語運用能力、「ソーシャル・インテリジェンス」における ICT 活用スキル並びに統計学等を用いた分析手法の習得。希望者対象の海外インターンシップ（ソウル・台湾・上海・シンガポール）。</p> <p>2 年次：批判的思考力と多文化対話力の獲得 「イノベーション探究Ⅱ」における多文化協働 PBL（シンガポール国立大学、海外パートナー高校）、海外フィールドワーク、生徒の研究課題の仮説検証。「グローバル・コミュニケーションⅡ」における批判的思考力及び多文化対話力の習得。「京都の風土・世界の風土」における文化の多様性と複合性の理解。京都府海外サテライト校への中期留学。シンガポール・マレーシアにおける海外研修。希望者対象の海外インターンシップ（ソウル・台湾・上海・シンガポール）。</p> <p>3 年次：グローバル・サミットにおける新たな価値提言 「イノベーション探究Ⅲ」における価値創造（地域研究領域）、鳥羽の学びネットワークと連携したグローバル・サミットにおける提言。「グローバル・コミュニケーションⅢ」における英語論文の作成及びプレゼンテーション。</p> <p>＜検証評価＞</p> <p>検証評価については、運営指導委員会並びに、SGU やグローバル企業などからなる鳥羽の学びネットワーク等から積極的に外部評価を受けることを予定している。</p> <p>(3) 必要となる教育課程の特例等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度より京都府海外サテライト校への中期留学を単位認定 ・「ソーシャル・インテリジェンス」による、「情報」の代替 ・「京都の風土・世界の風土」による、「地理歴史」の代替
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">⑧ -3 上記以外</p>		<p>(1) 課題研究以外の研究開発の内容・実施方法・検証評価 国際バカロレアの趣旨を踏まえた教育課程の研究</p> <p>(2) 課題研究の実施以外で必要となる教育課程の特例等 なし</p> <p>(3) グローバル・リーダー育成に関する環境整備，教育課程課外の取組内容・実施方法 海外帰国子女特別入学者選抜の継続実施</p> <p>(4) 幹事校としての取組（該当する場合のみ記入） なし</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">⑨ その他 特記事項</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・京都府教育委員会指定「グローバルネットワーク京都」幹事校